放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月29日　　事業所名　タイムこどもデイサービスりずむ

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		部屋数が少ないがパーテーションやカーテンなどを使い工夫している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			問題なし
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		玄関がバリアフリーになっていないが、室内は段差がない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			定期的な会議の中で細かく行うようにしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年アンケート調査を行い、調査結果から業務改善を行っている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			3月末に法人HPに、4月にデイ通信に掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	行っていない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		○		機会はあったが都合がつかず参加できないことも多かった。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			面談での聞き取りと会議での話し合いを行い作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			相談支援のものを使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			りずむ会議の中で実施希望を出し合っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			スタッフの意見を取り入れ、日々の活動に変化をつけている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中はイベントや他事業所との交流を図っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			発達段階に応じて個別活動や集団活動を行っている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員間での打ち合わせを行い、話し合った内容をホワイトボード等を使い、支援員に伝えるように努めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			個別記録日誌や振り返りを行い、共有を図っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々記録を取り、会議や打ち合わせの中で検証している。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			毎月の会議の中でモニタリングを行い、
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか		○		毎年4月ガイドラインの勉強会を行い、個別支援プログラムに生かしている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			管理者及び児発管が相談支援と連携し行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			看護師および管理者・児発管が医師の指示書に基づき連携を取り、行っている。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			相談支援事業所を介して行っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援事業所を介して行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		OTの助言・研修を受けている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		公園や近隣の住民の方と交流する機会がある。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			管理者、児発管が積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や日々の送迎の際に様子を話し合い情報を共有している。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングの研修に参加して行っていきたい。
保	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		相談支援だけでなく、デイサービスが直接相談を受けた際はその内容に沿って対応している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会の場を設け、交流する機会を作るようにしている。

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
護者への説明責任等	㉝	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応係を設置し、迅速に対応するようにしている。
	㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			各デイサービス事業所の情報を「デイ通信」「タイム通信」にて発信している
	㉟	個人情報に十分注意しているか	○			会議で話し合い、十分配慮している。
	㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			会議で話し合い、全体で工夫や配慮を行うようにしている。
	㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	まだコロナが流行っていたため行われなかった。来年度は行っていきたい。
非常時等の対応	㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			策定し、細かい変更点などが出来た時はその都度行うようにしている。
	㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			消防・水災・地震など各避難訓練を年3回行っている。
	㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止委員を中心に、研修や事例検討を行っている。
	㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束委員会でそれぞれの事例を検討し、拘束の必要がある場合は説明を行い、同意書に署名してもらい、個別支援計画書に記載している。
	㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	現在、アレルギーのある利用者はいない。
	㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			定期的な会議で話し合いを行い、情報を共有している。